投信フォーラム2017 in 甲府

資産を増やし、豊かな人生を

豊かな人生を送るために投資信託について学ぶ「投信フォーラム2017in甲府」（一般社団法人投資信託協会、山梨日日新聞社、全国地方新聞社連合会主催）が先月、甲府・県地場産業センターで開かれた。少額投資非課税制度（NISA）や個人型確定拠出年金「iDeCo（イデコ）」の活用法などについて専門家がパネルディスカッションで解説。芸人でコラムニストのプチ鹿島さんと、YBS山梨放送の桜井和明アナウンサーのトークショーもあった。

パネルディスカッション「どう使う？知って得するNISAと確定拠出年金」

浅井 公広氏

■パネリスト

大和証券投資信託委託ファンド・プロモーション部チーフ・プレゼンター
宮沢 沙央梨氏

日興アセットマネジメント経営企画グローバルヘッド兼経営企画本部長
浅井 公広氏

芸人・コラムニスト
プチ鹿島氏

■コーディネーター

生活経済ジャーナリスト・ファイナンシャルプランナー
和泉 昭子氏

宮沢 沙央梨氏

プチ鹿島氏

プロが運用、少額から可能　宮沢氏
有利な税制で好機広がる　浅井氏
役立つ情報を大切にしたい　プチ鹿島氏

和泉昭子氏　NISAやiDeCoなど、どうして国が投資を支援してくれるのでしょうか。

宮沢沙央梨氏　節税効果が期待できる、つまりこれは国が支援してくれるということですが、国からの分かりやすいサインだと考えています。今までは、老後は国が自分を支えてくれるというイメージでしたが、これからは少子高齢化による人口減で年金をもらう人は増えて、税金を納める人は減っていきます。社会の変化の中で、「国が全部面倒をみます」ということは難しくなりますが、「自分で努力をする人には国がサポートをしますよ」というのが、NISAやiDeCoというものになります。

プチ鹿島氏　情報をしっかり得ていれば自分の役に立ち、有利にお金を増やすことができるということですね。

和泉氏　金融商品の中で個人が始めやすいものはありますか。

浅井公広氏　金融商品はとても幅が広いです。個人で買えるとなると、株、債券、不動産投資信託（REIT）、投資信託が中心になります。例えば毎月1万円といった少額で始めるとなると、投資信託がいいと思います。株や債券の場合、同じ1万円でもそれぞれ一つの資産で終わってしまいますが、投資信託であれば1万円で買ったファンドの中にはいろいろ入っています。例えば世界のREITに投資する投資信託を買えば世界の不動産の大家さんになれるなど、1万円でできる投資の中で一番スケールが大きく、夢があるのが投資信託です。

和泉氏　投資信託とはどのようなものですか。

宮沢氏　投資信託は、投資家の皆さまから集めたお金を一つにまとめて、運用のプロが株式や債券に投資するという仕組みです。運用によって出た利益は投資額に応じて分配されます。一方で、マイナスになり元本割れする可能性もあり、自己責任となります。投資信託の魅力は、大きく分けて①投資額が少なくても投資が可能②一つの株式や債券ではなく多くの資産にわけてリスク分散できる③プロが運用してくれる―の三つです。

浅井氏　ファンドの良し悪しですが、悪いファンドはありません。しかし、投資する人との相性はあります。ハイリスクハイリターンのものは、損をする事はあっても夢のある投資がしたいという人にとってはいいファンドです。そうではなく、毎日心穏やかに過ごしたいという人には合いません。

和泉氏　ファンドを選ぶときのポイントは。

宮沢氏　皆さまが投資をするときに目的、目標をしっかり決めることで絞り込めます。例えば20～30年後の老後資金を考えるときは期間が長いのでリスクが取れるとか、5年後必要な教育資金であれば安定的なものにするべきです。それと、投資信託には運用管理費用（信託報酬）というコストが掛かりますので、コスト面も選ぶ際のポイントになります。

NISAなどをテーマにしたパネルディスカッション＝甲府・県地場産業センター

和泉 昭子氏

和泉氏　リスクを少しでも小さくする上手な運用方法はありますか。

宮沢氏　リスクをゼロにすることはできませんが、上手に付き合うことはできます。一つ目の方法は資産の分散で、株式だけではなく、債券やREITなどに分散します。二つ目は長期保有です。短期間より長期間の方がプラスになるタイミングが訪れる機会が増えます。三つ目が時間の分散です。買うタイミングを分けることでもリスクを減らすことができます。

和泉氏　投資に有利な制度をどう活用したらいいですか。

浅井氏　まずは税金面でのメリットが一番大きいiDeCoが使えるかどうかです。iDeCoは投資した分のお金が所得から引かれるので、その分の税金がかかりません。iDeCoで投資できる分を使い切ってから、自分ができる範囲でさらに投資することを考えるといいと思います。

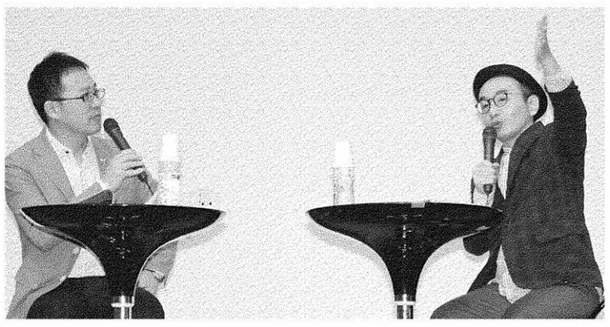
和泉氏　2017年は投資にとってどんな年ですか。

浅井氏　チャンスの年だと思います。日本における長期投資元年です。国のサポート制度に加え、世界経済、日本経済ともにしっかりと利益を出して、海外では経済成長が進んでいます。日本もデフレ脱却を目指し、さまざまな政策が行われてきました。それが最近、賃金やサービスの値段の上昇がようやく確実になってきています。いい方向の材料に加えてお得な税制。長期投資を始めるには一番いい年ですね。

プチ鹿島氏　今回話が聞けたということもタイミングですよね。いい情報が聞けたので大切にしたいです。

トークショー「時事ネタを活用し楽しい生活」

見方の違い、新聞の醍醐味


トークショーを行ったプチ鹿島氏（右）と、桜井和明アナウンサー＝甲府・県地場産業センター

桜井和明アナウンサー　プチ鹿島さんは「時事ネタ芸人」として活躍していますね。

プチ鹿島氏　時事ネタというと敷居が高いような印象かもしれませんが、昨日起きたこと、今日起きたことをわいわい話そうよということです。

桜井アナ　プチさんは、皆さんもやったら生活が楽しくなるというやり方を実践していますね。

プチ鹿島氏　僕は「芸人式新聞の読み方」という本を出したのですが、新聞の醍醐味（だいごみ）は書かれた情報に対し、どういう見方をするかです。野球に例えると、1塁側と3塁側で、同じ野球の試合でも見え方が全然違いますよね。

桜井アナ　応援するチームが違いますからね。

プチ鹿島氏　1塁側はホームチームに、3塁側はビジターチームに温かい人たちが座っているので、一つのプレーで応援したり、やじが飛んだりと反応が違います。僕はそれが新聞でも同じだと思っています。例えば政権を応援していたり、批判的だったり。その図式を頭に入れておくと新聞記事は面白いですよ。

桜井アナ　最近は新聞ではなく、スマートフォンを使ってインターネットでニュースを見る人が増えています。

プチ鹿島氏　インターネット上では偽のニュースも流され、情報の引用元などが気にされるようになりました。もし資産運用に関して偽の情報をつかまされてしまったら、すごく損だと思います。それであれば、新聞から情報を取った方が合理的だと思いますね。間違えたら謝りますし、基本的な事実で嘘を書くことはありません。新聞を全て信用しろとは言いませんが、情報を一番コンパクトに確認できると思います。

用語辞典

少額投資非課税制度【NISA、ニーサ】

NISAとは、平成26年1月にスタートした、個人投資家のための税制優遇制度です。NISAでは毎年120万円の非課税投資枠が設定され、株式・投資信託等の配当・譲渡益等が非課税対象となります。

出典：金融庁ウェブサイト（http://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/index.html）

個人型確定拠出年金【iDeCo、イデコ】

公的年金に上乗せして給付を受ける私的年金の一つです。①掛け金が全額所得控除される②運用益も非課税で再投資される③受け取るときも大きな控除がある―といったメリットがあります。

出典：ウェブサイト「iDeCoガイド」

不動産投資信託【REIT、リート】

投資家から集めた資金で、オフィスビルや商業施設、マンションなどを購入し、賃料収入や売却益を分配する金融商品です。米国で生まれた仕組みで、日本ではJ-REITと呼ばれています。

出典：投資信託協会ホームページ

今日からはじめる資産形成　投資信託で豊かな人生を

将来のことがとても心配。投資で備えるという話も聞くけれど…

投資信託は、1万円程度からはじめられて、リスクを小さくする分散投資も可能な商品です。
あなたの資産形成に投資信託を加えてみませんか。

投資信託協会ホームページがリニューアル！

◆初心者にもわかりやすいコンテンツが充実。
◆著名人のインタビューや資産運用を学ぶコラムを収録しています。

はじめての資産運用でも安心

これから資産運用をはじめる方に、ライフプランの考え方や資産形成の考え方、投資のイロハまで、コラムや動画、マンガでわかりやすく解説します。

無料　ガイドブックプレゼント（各1冊セット）

個人投資家を応援する税制優遇制度「NISA」や「ジュニアNISA」についても解説しています。

これから投資をはじめる方、交付目論見書や運用報告書の見方がわかるリーフレットも一緒にお送りします。

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。
（お届けまで2週間程度かかる場合があります。）

〒103-0026
東京都中央区日本橋兜町2-1
東京証券取引所ビル6階　一般社団法人 投資信託協会YN係

※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

一般社団法人 投資信託協会　www.toushin.or.jp　投資信託協会　検索

紙面・記事・写真・イラスト等の無断掲載・転用はお断りします。Copyright 山梨日日新聞社